

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年11月15日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年11月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【2・3号機計器用電源装置の点検周期延長に伴う検討資料の未作成について】 2・3号機中央制御室に設置されている計器用電源装置について、点検長期計画に定める点検周期を延長するため、当該電源装置の健全性を確認し、問題がないことを確認した上で、点検周期を延長したが、周期延長を検討した際に作成すべき検討資料が未作成であることを確認した。 今後、再発防止対策を検討予定。	GⅢ	11月13日
2	【G6エリアにあるD5タンクのマンホールパッキンの落下について】 G6エリアにあるD9タンク内の多核種除去設備処理水をD5タンクに移送する際、D5タンクの天板用のパッキンがD5タンク内へ落下したことを確認。 落下したパッキンは翌日回収済み。 調査の結果、突風によりD5タンク開口部付近に置いていたパッキンが開口部からD5タンク内へ落下したと推定。 今後、再発防止対策を検討予定。	GⅢ	11月12日